

事業所名

くれーるToNe

支援プログラム

作成日

R7

年

3月

10日

法人（事業所）理念	こどもの最善の利益を重視し、それにつながる療育を常に追求します。その子の未来が明るくなるよう、ご家族への適切な支援を行います。					
支援方針	利用者の課題を様々な角度から考察し、各専門機関と連携してより良い方向を目指します。					
営業時間	10時	0分	14時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	園生活を基盤として、事業所に通う生活リズムを整えます。身の回りの身支度や、着替え、靴の脱着等の身辺自立を促します。				
	運動・感覚	マットや巧技台を用いて体を動かすことで、感覚器官を刺激します。庭やこども園の園庭、遊具等を活用し、安全に粗大運動を楽しみます。				
	認知・行動	指示理解が容易にできるように、子どもたちの発達段階に応じてクラス分けを行い、日々の活動の課題のレベルを設定しています。5歳児さんは就学を意識して、数字や文字を使った活動を行い、認知能力の発達を促すこともあります。職員がお手本を見せることで行動の習得につなげ、無理なく楽しく望ましい行動を身につけていきます。				
	言語 コミュニケーション	絵や物を使ったやり取り等、ことばの発達が促されるような関わりを丁寧に行っております。必要に応じて個別で構音のトレーニングを行うこともあります。小集団の中で、相手に配慮したり、自分の気持ちを主張したりする様々な経験を大切にします。				
	人間関係 社会性	同年代の3～5名の小集団での活動を通して、自分の意思を伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら、自分の気持ちに折り合いをつけていく経験を積みみます。職員と安心できる関係を形成し、集団の中でも安心していられるように支援します。				
家族支援	ご家族の子育ての悩みや不安に寄り添い、ご家庭での関わり方や休日の過ごし方等、本人やご家族、ごきょうだいのお困りごとをご相談いただき、個別に対応させていただきます。	移行支援	こども園と密に連携しており、ご家族のご希望に応じてこども園での集団生活を優先して利用ができるよう配慮しています。就学に向けた情報提供や、就学先学校との引継ぎも行ってまいります。			
地域支援・地域連携	羽生総合病院と連携しており、専門職とも情報共有を行いながら支援にあたっております。並行利用の方については、相談支援事業所や、児童発達支援事業所間でも連携しながら対応しております。	職員の質の向上	虐待防止研修・身体拘束適正化研修、衛生に関する研修、安全計画に関する研修の他にも、施設外における各種研修に希望に応じて受講できるように配慮しております。			
主な行事等	夏は水遊びをしたり、季節ごとに製作を行ったり、季節に応じた活動を行います。					

事業所名

くれーるToNe

支援プログラム

作成日

R7

年

3月

10日

法人（事業所）理念		こどもの最善の利益を重視し、それにつながる療育を常に追求します。その子の未来が明るくなるよう、ご家族への適切な支援を行います。					
支援方針		利用者の課題を様々な角度から考察し、各専門機関と連携してより良い方向を目指します。					
営業時間		14時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	学校でのストレスや疲れを少しでも発散して、家庭ではゆったりと過ごせるよう配慮しております。衣服の調節や排泄の声掛け等、自分の体温や感じ方の変化に気付けるよう丁寧に対応しております。					
	運動・感覚	こども園の園庭や遊具を使い、ジャングリングやふわふわドームで体を動かしたり、園庭でボール遊びや鬼ごっこをしたりして過ごします。室内では折り紙をしたり、好きな製作をしたりと、自分の興味のある内容で微細運動も行います。					
	認知・行動	本人のやろうとする気持ちを大事にしながら宿題に取り組み、達成感を味わえるよう支援しています。日々の活動において、自分のやりたいことをやるためには何をどの順ですれば良いか、自分自身でスケジューリングを行うことで先の見通しを持つことができるよう配慮しています。					
	言語 コミュニケーション	自分の意思を上手に言葉にして伝えることが苦手なお子さんについては、職員が言葉の助け舟を出したり、代わりに感情を言葉にして伝えたりすることで、友達や職員と安心してコミュニケーションが取れるような環境を調整しています。					
	人間関係 社会性	同年代のお友達と楽しく過ごす中で、うまくいかないことや思い通りにならないことも経験しながら、自分の気持ちにうまく折り合いをつけていくことができるように時には職員が介入しながら支援しています。					
家族支援		ご家族の子育ての悩みや不安に寄り添い、ご家庭での関わり方や休日の過ごし方等、本人やご家族、ごきょうだいのお困りごとをご相談いただき、個別に対応させていただきます。			移行支援		担任から学校の様子も聞きながら、必要に応じて支援級・支援学校への接続にも対応しています。
地域支援・地域連携		羽生総合病院と連携しており、専門職とも情報共有を行いながら支援にあたっております。並行利用の方については、相談支援事業所や、児童発達支援事業所間でも連携しながら対応しております。			職員の質の向上		虐待防止研修・身体拘束適正化研修、衛生に関する研修、安全計画に関する研修の他にも、施設外における各種研修に希望に応じて受講できるように配慮しております。
主な行事等		夏は水遊びをしたり、季節ごとに製作を行ったり、季節に応じた活動を行います。					

事業所名

くれーるToNe

支援プログラム

作成日

R7

年

3月

10日

法人（事業所）理念	こどもの最善の利益を重視し、それにつながる療育を常に追求します。その子の未来が明るくなるよう、ご家族への適切な支援を行います。					
支援方針	利用者の課題を様々な角度から考察し、各専門機関と連携してより良い方向を目指します。					
営業時間	10時	0分	15時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	クラスでの身辺自立や排泄の自立状況、日課に従って生活できているかどうかを確認します。担任とも情報共有を行い、日頃の園生活で本人が寝不足だったり、偏食だったりすることがあるか、様子を確認します。必要に応じてご家族にフィードバックします。				
	運動・感覚	身体の使い方や、動かす時に違和感がないか、本人が動かさずらそうにしているところはないかどうかに見ています。もし身体の使い方配慮が必要そうな場合には、担任に共有し、必要に応じた支援をしてもらえるように働きかけます。				
	認知・行動	クラスでの担任からの指示と本人の理解に相違がないか、集団との動きに差異がないか等、周囲の同年代のお友達との活動に支障が出ていないかを確認します。クラスでの活動が本人の発達段階に合っているかを見て、担任に環境調整を依頼することもあります。				
	言語 コミュニケーション	支援中に本人に話しかけて、コミュニケーションが取れるかどうかを確認します。また、自分のいつもの慣れた集団の中に、いつもはいない支援員が入ることでのどのような反応をするかも見ています。本人が嫌がるようであれば無理せず訪問を中断することもあります。				
	人間関係 社会性	個別や集団の中でのお友達とのやり取りや、担任の先生とのやり取り等、自分の気持ちが伝えられているか、困っていることはなさそうか、反対にお友達を困らせてしまうようなことはないか等、人と関わる上で起きる様々な出来事とそれについての本人の様子を丁寧に見させていただいております。どこか大人の介入が必要そうなことがあれば、担任に情報共有させていただき、環境調整を依頼しています。				
家族支援	できる限りクラスでのありのままの様子を文章や口頭でお伝えし、普段ご家族が見ることができない様子をお伝えできるようにしています。ご家族が見て欲しい場面がある場合にはできる限り対応しております。	移行支援	担任の先生と訪問の結果を毎回共有し、クラスで過ごしやすいような環境調整をお願いしています。			
地域支援・地域連携	羽生総合病院と連携しており、専門職とも情報共有を行いながら支援にあたっております。並行利用の方については、相談支援事業所や、児童発達支援事業所間でも連携しながら対応しております。	職員の質の向上	虐待防止研修・身体拘束適正化研修、衛生に関する研修、安全計画に関する研修の他にも、施設外における各種研修に希望に応じて受講できるように配慮しております。			
主な行事等	ご希望に応じて、こども園や学校での行事の様子を見させていただくこともあります。					